

カメラ駆動ユニット 取扱説明書

工事説明付き

品番 **WV-PS158**

もくじ

ご使用前に

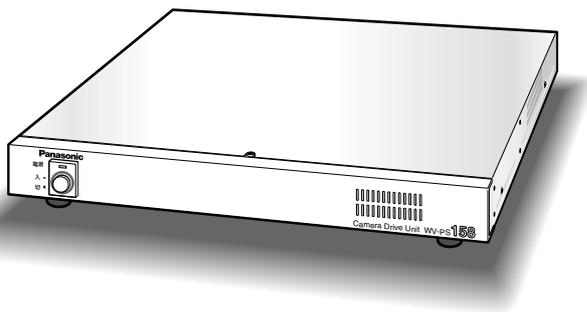
はじめに	2
商品概要	2
付属品をご確認ください	2
本書について	2
安全上のご注意	3
取り扱いについて	5
使用上のお願い	5
設置上のお願い	6
各部のなまえ	7
前面	7
後面	7

工事

接続のしかた	8
BNCプラグの取り付けかた	8
テルックカメラを接続する	8
複数のテルックカメラに 外部同期をかけて接続する	9
データ通信機器を持った機器 との接続例	9
ラックへの取り付けかた	10

その他

仕様	11
保証とアフターサービス	裏表紙



上手に使うって上手に節電

保証書別添付

このたびは、カメラ駆動ユニットをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
・この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」(3～4ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
・保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

はじめに

商品概要

本機はテルックカメラ専用のカメラ駆動ユニットです。8台までのテルックカメラに電源を供給します。また、同期信号を出力し、複数の装置間に同期をかけることができます。

データ通信にも対応しており、データ通信機能を持った機器（システムコントローラーなど）を接続（カメラ入力端子1のみ対応）してシステムを構築することもできます。

付属品をご確認ください

取扱説明書（本書） 1
保証書 1

以下の付属品は取付工事に使用します。

ラックマウント金具 2
ラックマウント金具取付ねじ（M3） 6
ラック取付ねじ（呼び径5タッピング） 4
スイッチプロテクター 1

本書について



重要 : 該当する機能を使用するにあたり、制限事項や注意事項が書かれています。



: 使用上のヒントが書かれています。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

ご使用前に

警告

工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因になります。

- 必ず販売店にご依頼ください。

異常があるときは、すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いがするなど、そのまま使用すると火災の原因になります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

分解しない、改造しない



火災や感電の原因になります。

分解禁止

- 修理や点検は、販売店にご依頼ください。

機器の上に水などの入った容器を置かない



水などが中に入った場合、火災や感電の原因になります。

水ぬれ禁止

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

異物を入れない



禁止

水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因になります。

不安定な場所に置かない



禁止

落下によるけがの原因になります。

雷のときは工事・配線をしな



禁止

火災や感電の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



ぬれ手禁止

感電の原因になります。

安全上のご注意（つづき）

電源コード・電源プラグを破損するよう なことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない）



傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

禁止

- コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

電源プラグのほこりなどは定期的にとる



プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使 い方や、交流100 V以外での使用はし ない



たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

禁止

配線は正しく行う



ショートや誤配線により、火災の原因となります。

ケーブルを傷つけない



禁止

重いものをのせたり、はさんだりすると、ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となります。

⚠ 注意

放熱ファンや通風孔をふさが ない



禁止

内部に熱がこもり、火災の原因になります。

落とさない、強い衝撃を 与えない



禁止

けがや火災の原因になります。

湿気やほこりの多い場所 に設置しない



禁止

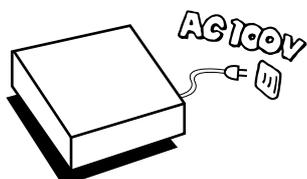
取り扱いについて

⚠ 警告 ⚠ 注意 に記載されている内容とともに以下の事項をお守りください。

使用上のお願い

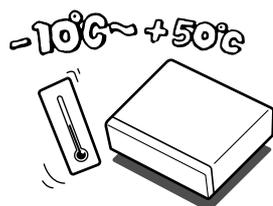
使用電源は

AC100 Vです。
消費電力の大きな機器（コピー機、空調機器など）と同じコンセントから電源をとらないでください。



使用温度範囲は

-10℃～+50℃です。
この温度範囲以外で使用すると内部の部品に悪影響を与えたり、誤動作の原因となることがあります。



電源スイッチについて

電源スイッチを切っても、電源からは遮断されません。
電源を遮断する場合、ACコンセントから本機の電源プラグを抜くか、電源制御ユニット使用時は電源制御ユニットの電源を切ってください。

表示について

本機の識別および電源、その他の表示は機器底面をご覧ください。

長時間使用しない場合は

電源スイッチを「切」にして、電源プラグをACコンセントから抜いてください。

お手入れについて

- 電源を切り、乾いた柔らかい布でふいてください。ほこりがとれにくいときは、水で薄めた台所用洗剤（中性）を柔らかい布にしみこませ、固く絞ってから軽くふいてください。そのあと、乾いた柔らかい布で、洗剤成分を完全にふき取ってください。
- シンナーやベンジンなど、揮発性のものは使用しないでください。



- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

設置上のお願い

設置場所について

- 使用温度範囲は -10°C ～ $+50^{\circ}\text{C}$ 、湿度90%以下です。調理室やボイラー室などへ設置するときは、温度や湿度が上がりすぎないようにしてください。
- 直射日光の当たるところや温風の吹き出し口近くは避けてください。また、湿気やほこり、振動の多い場所に設置しないでください。

雑音源は避ける

インターホンや電灯線など雑音源にケーブルを近づけると、映像が乱れたり、雑音が入る場合があります。そのときはインターホンや雑音源からできるだけ離すように配線する、または本機の位置を変えてください。

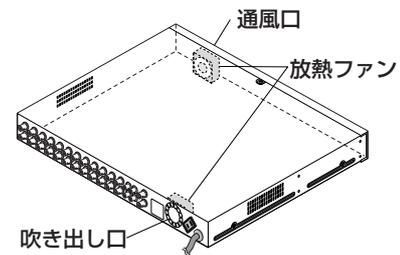
接続・配線について

- カメラと接続するときは、本機の電源スイッチを「切」にしてから行ってください。電源スイッチを「入」のままカメラを接続するとカメラは動作しません。（接続誤り防止の回路が働きます）
- 使用するケーブルの太さと長さを確認してください。同軸ケーブルの最大距離は、5C-2Vで500 m、3C-2Vで200 mです。これ以上延長すると映像が乱れたり、雑音が入ったりします。
- 強度上の問題で、3C-2Vの同軸ケーブルを配管配線や空中配線に使用しないでください。断線する恐れがあります。
- 次のような場所に設置（配線）すると、映像が曲がったり雑音が入ることがあります。このようなときは、カメラケーブルを専用の薄鋼電線管に通して設置してください。本機を2台以上使用するとき、カメラ駆動ユニットごとに電線管を設けてください。
 - ① 電灯線に近づけて配線している
 - ② テレビやラジオの送信アンテナ、モーターやトランスなどの近くで使用している（強い電界・磁界の近くで使用している）

放熱について

内部に熱がこもると、火災や故障の原因となりますので、次のことに注意してください。

- 放熱ファンの吹き出し口近くや通風口を壁やラック、布などでふさがれないでください。ほこりなどで通風口がふさがれないように、定期的にお手入れしてください。



- 機器の側面、後面は壁面から5 cm以上空けてください。
- 放熱ファンは消耗品です。約30 000時間を目安に交換してください。放熱ファンが故障すると、電源表示灯が点滅します。また、交換は販売店にご依頼ください。

電源について

電源コードは、必ず遮断装置を介した次のいずれかの方法で接続してください。

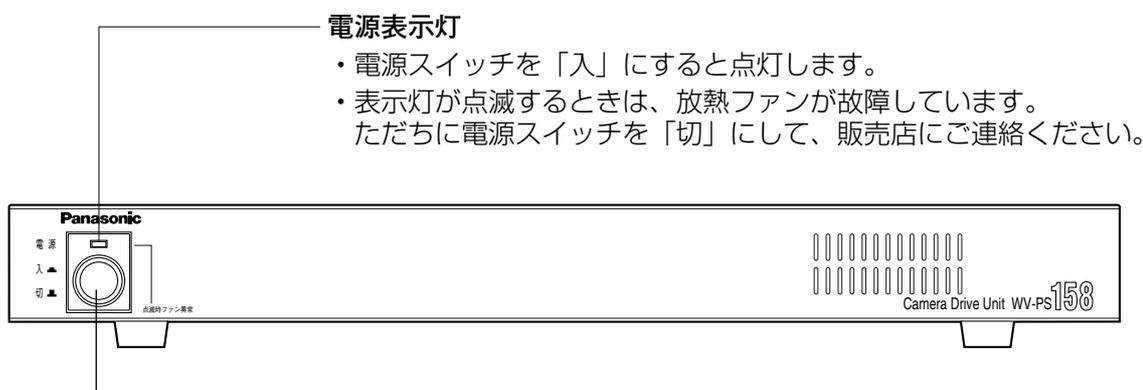
- (1) 電源制御ユニットを介して接続する。
- (2) 電源コンセントの近くに設置し、遮断装置（電源プラグ）を介して接続する。
- (3) 3.0 mm以上の接点距離を有する分電盤のブレーカーに接続する。ブレーカーは、保護アース導体を除く主電源のすべての極が遮断できるものを使用すること。

SIGNAL GND端子について

本機後面のSIGNAL GND端子を必ず接地してください。接地しないと誘導ノイズを受ける恐れがあります。

各部のなまえ

前面



電源表示灯

- 電源スイッチを「入」にすると点灯します。
- 表示灯が点滅するときは、放熱ファンが故障しています。ただちに電源スイッチを「切」にして、販売店にご連絡ください。

電源スイッチ [電源 入/切]

- 電源スイッチを「切」にしても電源からは遮断されません。電源を遮断する場合は、ACコンセントから本機の電源プラグを抜くか、電源ブレーカーをOFF（または「切」）にしてください。
- 長期間使用しないときは、電源スイッチを「切」にして、電源プラグをACコンセントから抜いてください。

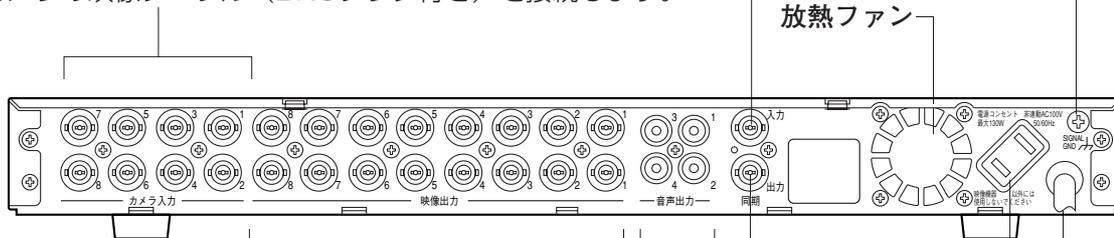
後面

同期入力端子 [同期入力]

外部同期信号を入力する端子です。他のカメラ駆動装置の同期出力端子と同軸ケーブル（BNCプラグ付き）で接続します。他の機器からのVS信号（1 V [P-P]）でも同期をかけることができます。

カメラ入力端子 [カメラ入力 1,2,3,4,5,6,7,8]

テルックカメラの映像ケーブル（BNCプラグ付き）を接続します。



SIGNAL GND端子 [SIGNAL GND]

他の機器のSIGNAL GND端子とこの端子を接続し、最終的に大地にアースします。

放熱ファン

映像出力端子 [映像出力 1,2,3,4,5,6,7,8]

カメラからの映像信号を出力する端子です。ビデオモニターやフレームスイッチャーなどの映像入力端子と同軸ケーブル（BNCプラグ付き）で接続します。各カメラに対して2出力あります。

音声出力端子 [音声出力 1,2,3,4]

カメラからの音声信号を出力する端子です。ビデオモニターなどの音声入力端子とRCAピンプラグケーブルで接続します。カメラ入力端子1,2,3,4に接続したカメラの音声信号がそれぞれ音声出力端子1,2,3,4から出力されます。

同期出力端子 [同期出力]

外部同期信号を出力する端子です。他のカメラ駆動装置の同期入力端子と同軸ケーブル（BNCプラグ付き）で接続します。

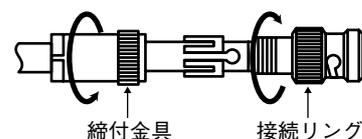
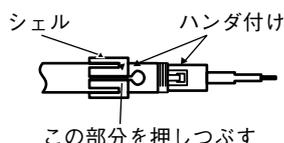
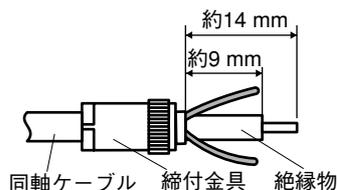
電源コンセント [AC100 V、最大130 W]
他の機器へ電源を供給するためのコンセントです。（非連動）

電源コード
AC100 V、50 Hz/60 Hzのコンセントに接続します。

接続のしかた

BNCプラグの取り付けかた

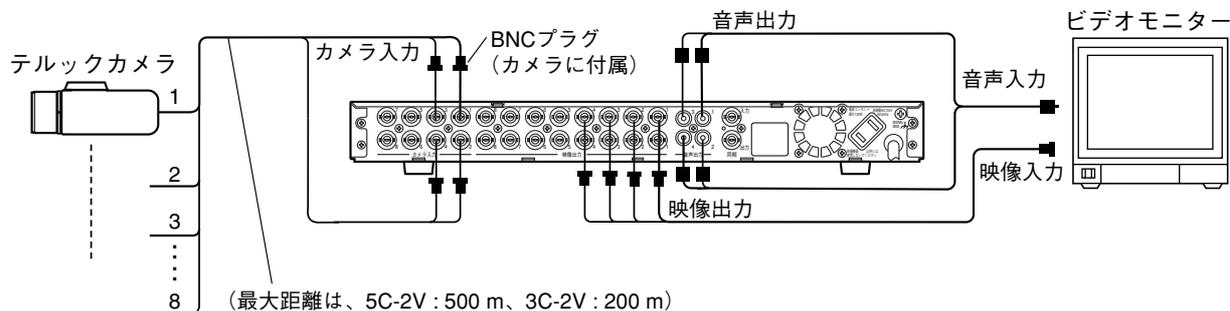
- 1 締付金具を同軸ケーブルに通して、ケーブル外被と絶縁物を切り取ります。
- 2 シェルを挿入し、シールドを適当な長さに切ってハンダ付けします。ハンダ付け後、図の部分を外被に食い込むように押しつぶします。
- 3 シェルに接続リングをねじ込み、締付金具をスパナなどで固く締め付けます。



- 同軸ケーブル（BNCプラグ付き）、RCAピンプラグケーブルは別途ご用意ください。同軸ケーブルを中継する場合は、「同軸用中継接栓」が必要です。
- テルックカメラからの映像ケーブル（同軸）には、テルックカメラに付属されているBNCプラグを取り付けてください。

テルックカメラを接続する

- テルックカメラを8台まで接続できます。カメラ入力端子1に接続したカメラの映像と音声は、映像出力端子1と音声出力端子1から出力されます。端子の番号を間違えないように接続してください。
- テルックカメラには、マイクロホンユニット（別売品）がないと音声機能が使用できない機種があります。詳しくは、テルックカメラの取扱説明書をお読みください。

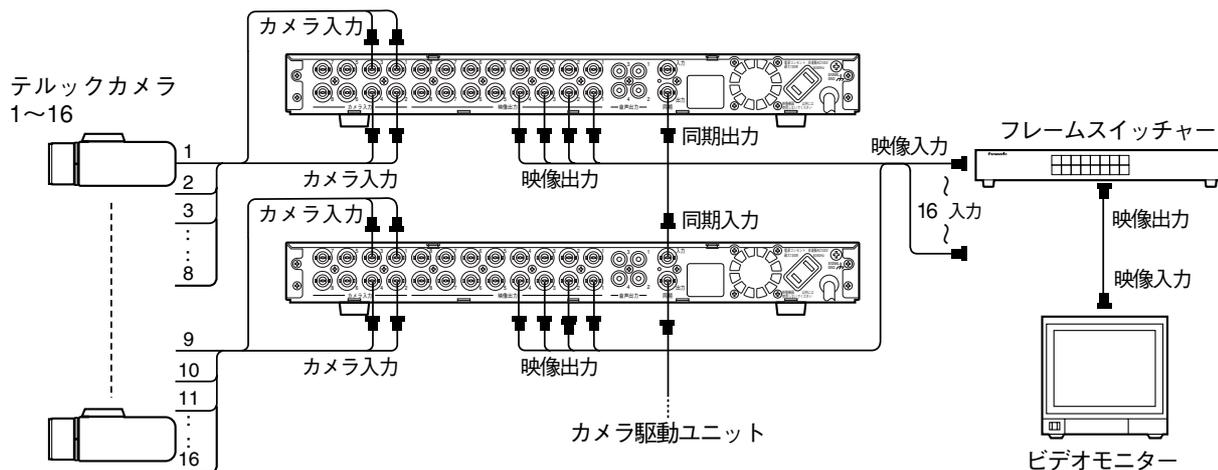


- 本機の電源スイッチを「切」にしてからカメラを接続してください。電源スイッチを「入」のまま接続すると、接続誤り防止の回路が働きカメラは動作しません。

複数のテルックカメラに外部同期をかけて接続する

詳しくは、テルックカメラの取扱説明書をお読みください。

- 重要**
- 必ず、各カメラ駆動ユニット（本機）の「カメラ入力1」端子にカメラを接続してください。カメラ入力1端子にカメラを接続しないと、同期信号が出力されず同期をかけることができません。

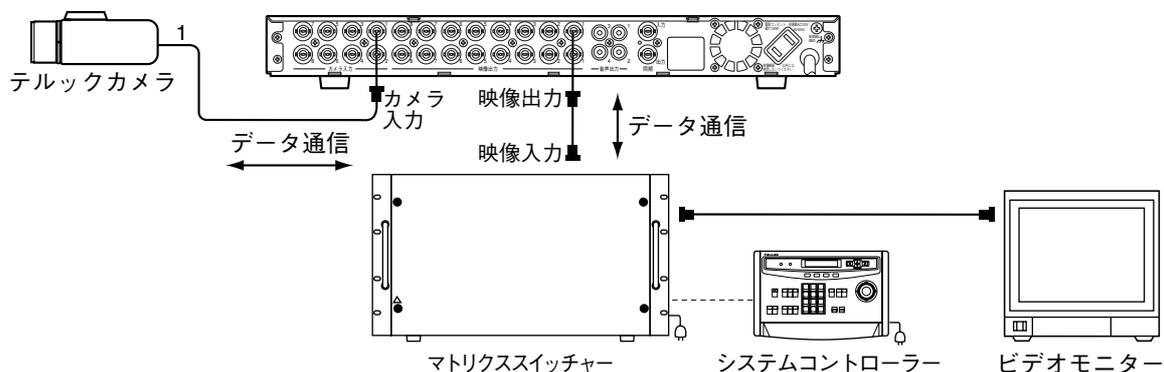


データ通信機能を持った機器との接続例

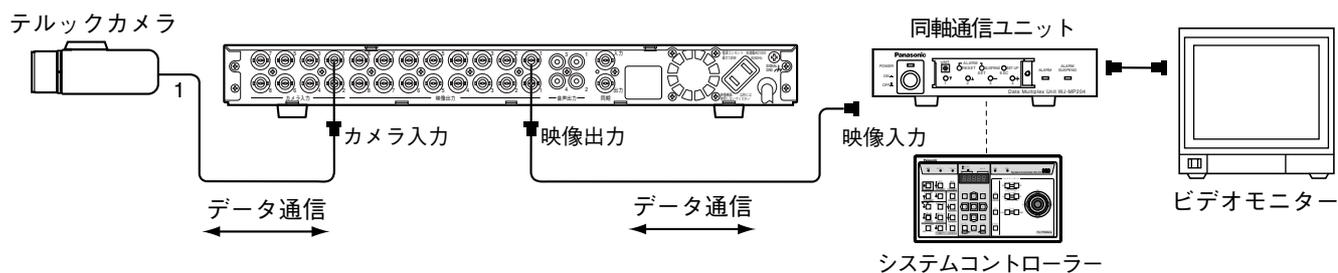
- memo**
- データ通信機能は、本機のカメラ入力1端子に接続したカメラのみ（映像出力端子は上段のみ）です。
 - マトリクススイッチャーや同軸通信ユニットなどと接続する場合は、その機器のVD2設定を「OFF」にしてください。

詳しくは、接続する機器の取扱説明書をお読みください。

マトリクススイッチャーとの接続例



同軸通信ユニットとの接続例



ラックへの取り付けかた

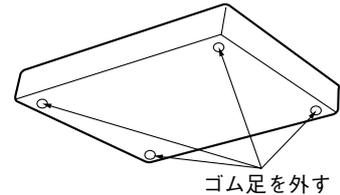
本機を取り付けるラックは、次のいずれかをご使用ください。

- スタンダードラック : WU-RS71 (当社製、収納ユニット数29U)
- ロングラック : WU-RL76 (当社製、収納ユニット数41U)
- EIA規格相当品 (他社製) : EIA19型、奥行き450 mm以上のもの

1

底面のゴム足 (4個) を外します。

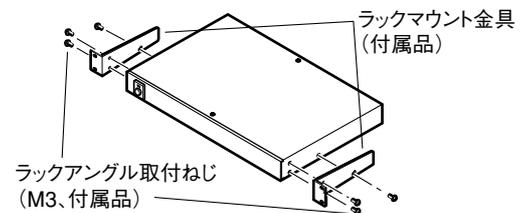
- マイナスドライバーで、ゴム足を固定しているねじを外してください。



2

本機の両側面に、ラックマウント金具を取り付けます。

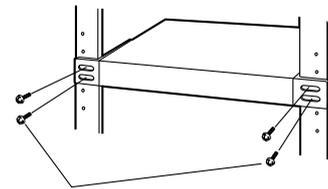
- ラックマウント金具取付ねじ (6本) で確実に固定してください。



3

本機をラックに取り付けます。

- ラック取付ねじ (4本) で確実に固定してください。



ラック取付ねじ
当社製ラックの場合: 呼び径5タッピング (付属品)
他社製ラックの場合: W2-MSS/5008 (別売品)、
またはM5×12 (別売品)

工事



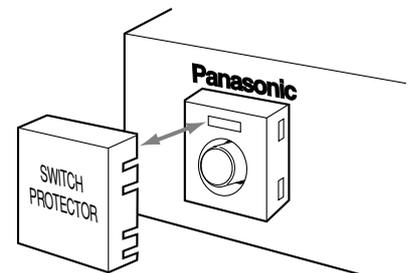
- 振動の多い場所に設置するときは、本機の後部を補強アングル (現地製作) などでラックに固定してください。
- ラック内の温度は、+45℃以上にならないようにしてください。
- ラック取り付け時は、電力増幅ユニットなどの発熱する機器よりも本機を下側に、1 U (44 mm) 以上の間隔をあけて取り付けてください。
- 付属のラック取付ねじ (M5×12) は、ラックの取付部にねじが切れていない場合に使用してください。ねじが切れているところに使用すると、ねじ山がこわれる場合があります。

スイッチプロテクター (付属品) について

スイッチプロテクターを使えば誤って本機の電源スイッチを押して「切」の状態になることを防止できます。

ラックなどに組み込んで、電源を一括で入/切して使用する場合は、必ず本機の電源スイッチを「入」の状態*にして、付属のスイッチプロテクターを取り付けてください。

*電源スイッチが「切」の状態では、電源の入/切ができません。



- 電源の入/切を本機の電源スイッチで行う使用方法のときは、スイッチプロテクターを取り付けしないでください。緊急対応時などに、電源スイッチをすぐに押せません。

仕様

電源	AC100 V 50 Hz / 60 Hz
消費電力	約83 W
電源コンセント	AC100 V 最大130 W
カメラ電源供給方式	定電流重畳伝送方式
カメラ入力	1.0 V [P-P] /75 Ω×8 (BNCコネクター)
映像出力	1.0 V [P-P] /75 Ω×16 (BNCコネクター)
音声出力	-10 dBV/600 Ω×4 不平衡 (RCAピンジャック)
同期入力 (SYNC/VD)	4.0 V [P-P] /75 Ω 負極性、 またはVS1.0 V [P-P] /75 Ω (BNCコネクター)
同期出力	SYNC/VD 4.0 V [P-P] /75 Ω 負極性 (BNCコネクター)
使用温度範囲	-10 °C ~+50 °C
使用湿度範囲	90 %以下
寸法	幅420 mm 高さ44 mm 奥行き350 mm (ゴム足、突起部含まず)
質量	約4.3 kg
仕上げ	前面パネル：AVアイボリー塗装 (マンセル7.9Y6.8/0.8近似色) 上カバー：AVアイボリー表面印刷鋼板 (エリオ鋼板) 後面パネル：亜鉛メッキ処理鋼板

保証とアフターサービス

よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…

まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間
ただし、放熱ファンは消耗品ですので、保証期間内でも「有料」とさせていただきます。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このカメラユニットの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

異常のあるときは、電源を切ってから、電源プラグを抜き、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- 保証期間中は
保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- 保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。
- 修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容

品名	カメラ駆動ユニット
品番	WV-PS158
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年 月 日	品番	WV-PS158
	販売店名	☎ () -		

松下電器産業株式会社

AV&セキュリティビジネスユニット

〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号

電話 フリーダイヤル 0120-878-410